

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析
結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報

評価結果ダイジェスト

▼全体の評価講評

▼サービス分析結果

▼利用者調査結果

▼事業者のコメント

平成17年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	練馬区立貫井福祉工房
評価機関名称	有限責任中間法人 日本福祉サービス評価機構
評価者	修了者No.H0302032 修了者No.H0301059 修了者No.H0302055 修了者No.H0302033
評価実施期間	2006年1月25日～2006年3月31日

全体の評価講評

▶ 詳細はこちらから

💡 特に良いと思う点

- ・就労に必要な能力を身につけるための授産作業・生活活動・体験実習等と求職活動を支援して利用者の就労を促進している
- ・利用者中心に目標・計画づくりを進めて、本人の意欲を引き出し、就労につなげるよう努めている
- ・練馬区など関係支援機関等と連携して、新しい職場の開拓に積極的に取り組んでいる

✓ さらなる改善が望まれる点

- ・他の機関や家族とも連携して利用者の生活支援の充実を
- ・就労支援の増大に対応して業務や運営のしくみ見直しを
- ・知的障害者の就労と自立を促進するために関係機関や諸団体との積極的な連携を

[このページの一番上へ](#)

サービス分析結果

▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A ⁺
【講評】 続きを見る	
・利用者・家族には、現在および将来に向けての生活支援に対するニーズが高く、健康管理... ・対人関係の問題では施設以外での人間関係についての相談の比重が高く、相当の件数にな...	
2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 続きを見る	
・授産活動のメニューは利用者が選択できるが、職業訓練的な要素が多分に含まれるため、... ・作業をできるだけ細分化して再構成を行い、利用者の仕事に対する意欲を引き出し、能力... ・作業の工夫や個別支援計画における利用者の目標の明確化を行い、個別の目標に向けての...	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 続きを見る	
・給食は業者に委託しているが、嗜好調査を行ない、献立に反映するようにしている。毎週... ・1時間の食事時間を設け、時間や席は自由に自分のペースに合わせて食事ができるように... ・栄養士が講師になり、年1回、利用者向けの栄養講座を開催しているほか、毎月のメニュー...	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】 続きを見る	
・就労を目的とする通所施設であるので、就労に必要なこと(タイムカードでの打刻、更衣...	

- 女性の利用者には生理に関する講座を設けている。また、個別的な支援も行っている。

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

A⁺

【講評】[続きを見る](#)

- 朝夕に利用者一人ひとりについて健康チェックを行っている。また、嘱託医が全員の家族...
- 血糖値の管理が必要な利用者については、医師と連携して個人別の健康管理マニュアルを...

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

A⁺

【講評】[続きを見る](#)

- 行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の話合いにより、内容や行く先を決める...
- 利用者の会の運営を支援している。第2土曜日には、利用者や退所者に施設を開放してい...

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- 利用者との面談の内容を家族に伝えてよいかどうかについては必ず本人の確認を取るよう...
- 家族からの相談は随時受けるようにしている。電話での連絡や相談が多く、現在は1日2...
- 家族との連携・交流を大切にしており、福祉園と合同の園祭り”ぬくぬくフェスティバル...

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

A⁺

【講評】[続きを見る](#)

- 一般企業も地域の社会資源の一つであり、体験・就労実習への協力や作業活動への協力を...
- 地域とのつながりを一層強めるために、地域住民を対象においしいコーヒーの入れ方やパ...

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

利用者調査結果

▶ [詳細はこちらから](#)

有効回答者数/利用者総数
18/18

1. 施設の中は安全に動けるようになっていきますか

はい	18人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

2. 食事はおいしいですか

はい	18人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

3. 仕事や活動は楽しいですか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

4. 職員はみんな同じようにあなたに対応してくれますか

はい	15人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

5. 職員は、丁寧(乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない)に接してくれますか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

6. あなたの気持ちをわかってくれる(相談できる)職員がいますか

はい	16人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

7. あなたが困ったとき、施設の職員は助けてくれますか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

8. 困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか

はい	3人	どちらともいえない	1人	いいえ	13人	無回答・非該当	1人
----	----	-----------	----	-----	-----	---------	----

9. 工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されていますか

はい	13人	どちらともいえない	1人	いいえ	1人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

10.施設に、あなたが来る事を喜んでくれる仲間がいますか

はい	18人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

11.あなたの目標・計画について、いっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	3人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

13.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会（説明、掲示など）がありましたか

はい	2人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

14.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設の説明を聞いて、自分で施設を利用することを決めましたか

はい	3人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

15.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	14人	どちらともいえない	1人	いいえ	0人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

16.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	14人	どちらともいえない	1人	いいえ	0人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

[このページの一番上へ](#)

事業者のコメント

* 以下の項目は事業者によって、自ら更新される情報です。

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団
【問合せ】メールアドレス：fukushiit@fukushizaidan.jp 電話：03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析
結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評価の見方

福祉サービス第三者評価情報

全体の評価講評

▼全体の評価講評

▼コメント

平成17年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	練馬区立貫井福祉工房
評価機関名称	有限責任中間法人 日本福祉サービス評価機構
評価者	修了者No.H0302032 修了者No.H0301059 修了者No.H0302055 修了者No.H0302033
評価実施期間	2006年1月25日～2006年3月31日

全体の評価講評

💡特に良いと思う点

- **就労に必要な能力を身につけるための授産作業・生活活動・体験実習等と求職活動を支援して利用者の就労を促進している**

貫井福祉工房は知的障害者の通所授産施設であるが、2年間の利用により一般就労をめざす通過型授産施設であることが特徴である。授産作業はパン製造を中心に4種類用意して、利用者がこれらの作業に従事する中で就労に必要な作業能力、基本的生活習慣や労働習慣および社会生活技能を身につけるよう支援している。また、企業での体験実習やジョブコーチによる就労支援、職場定着支援等を行い、知的障害者の社会参加と自立生活の促進に取り組む、開設後2年間で11人の就労を実現している。

- **利用者中心に目標・計画づくりを進めて、本人の意欲を引き出し、就労につなげるよう努めている**

貫井福祉工房は、利用者の意思を尊重して、就労を目的とした個別支援計画を本人中心に作成するよう努めている。そのため、計画書の様式も本人にわかりやすいように言葉遣いを平易にしたり、イラストや写真を使って親しみやすいものにするなどいろいろな工夫が見られる。個別支援計画作成の会議は本人を中心に進められ、目標設定も本人中心に行われている。「受容と共感を基盤に利用者との深い信頼関係を築く」ことを大切にして、利用者の意欲を引き出し、就労につなげようとする姿勢がうかがわれる。

- **練馬区など関係支援機関等と連携して、新しい職場の開拓に積極的に取り組んでいる**

練馬区をはじめハローワーク、職業センター等の関係支援機関、就労支援組織、作業所、学校、親の会などと連携して、地域で知的障害者の雇用・就労を促進するための活動に積極的に取り組んでいる。また、ハローワーク主催の雇用促進セミナーを貫井福祉工房を会場に開催して、雇用率未達成企業に対するプレゼンテーションを実施するとともに求人情報に綿密に対応して新しい職場の開拓に取り組んでいる。その他、地域の企業等への働きかけや他の施設と連携して職場開拓に取り組み、成果を挙げている。

✓さらなる改善が望まれる点

- **他の機関や家族とも連携して利用者の生活支援の充実を**

貫井福祉工房では、利用者が社会人・職業人として必要とされることやコミュニケーション技法、就労後の生活・余暇の過ごし方等についてソーシャルスキルトレーニングの技法を使って学習する機会を提供している。また、現在および就労後についても、家族を含めて生活支援のニーズが強いことから、健康管理、金銭管理をはじめいろいろな分野で生活支援を試みている。施設の性格上一定の制約があると思われるが、他の支援機関や家族との連携を含めて生活支援をより一層充実していくための方策を検討することが望まれる。

- **就労支援の増大に対応して業務や運営のしくみ見直しを**

就労支援に関わる業務が増大している。就労支援は施設外で行うため、その増加により職員間のコミュニケーションが不足しがちな傾向が生まれている。また、当初から、支援員の非常勤職員の比率が高く、常勤職員と非常勤職員の役割分担をどのようにしていくかが課題となっている。就労支援業務や職場運営のしくみを見直し、対策を講ずることが望まれる。さらに、就労支援は職員が単独で施設外で行うので、支援員の資質の向上・育成も大切な課題である。積極的な取り組みが期待される。

- **知的障害者の就労と自立を促進するために関係機関や諸団体との積極的な連携を**

貫井福祉工房は、授産を中心にした就労支援機関として、職場開拓とジョブコーチの面で独自のノウハウを蓄積してきている。その実績は社会的にも評価されているが、知的障害者が就労を継続し、社会的に自立して生活していくためにはまだいろいろな問題が残されている。今後とも、練馬区内を中心とした就労支援ネットワークをはじめ都内の

就労支援機関や生活支援機関、関連する諸団体と積極的に連携していくことが望まれる。

[このページの一番上へ](#)

コメント

利用者調査の対象には、退所者で都合のつく人も加えることにして実施した。調査員が利用者一人ひとりと面談し、聞き取りを行った。事業評価については、経営層および職員の自己評価、事業プロフィールをはじめ事業報告書・事業計画書その他関係資料により現状の分析と問題の整理を行い、訪問調査を実施した。訪問調査では、関連資料等により具体的な裏づけを確認するようにした。

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団
【問合せ】メールアドレス: fukushiit@fukushizaidan.jp 電話: 03-5206-8733

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方

福祉サービス第三者評価情報

組織マネジメント分析結果

- ▼リーダーシップと意思決定
- ▼経営における社会的責任
- ▼利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
- ▼計画の策定と着実な実行
- ▼職員と組織の能力向上
- ▼情報の保護・共有
- ▼カテゴリ1～7に関する活動成果

平成17年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	練馬区立貫井福祉工房
評価機関名称	有限責任中間法人 日本福祉サービス評価機構
事業評価実施期間	2006年2月6日～2006年3月31日

リーダーシップと意思決定

1. 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	評点
1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	A
2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	A
3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	A
【講評】 詳細はこちら	
- 法人および貫井福祉工房のミッション(理念)を明確にして職員会議や家族連絡会の場で... - 施設の運営に当っては、理念を方針に具体化して、年度の事業計画を策定している。併設...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

[このページの一番上へ](#)

経営における社会的責任

1. 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	評点
1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	A
2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	A+
3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている	A+
2. 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	評点
1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A+
2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	A
3. 地域の関係機関との連携を図っている	A
【講評】 詳細はこちら	
- 法人および貫井福祉工房の「ミッション」や年度の事業計画において、福祉サービスに従... - 貫井活動交流室や共有スペースの活用状況は上記のとおりであるが、活動交流室の運営... - 利用者の就労を促進するために、練馬区、ハローワーク・職業センター等の関係支援機関...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	

[このページの一番上へ](#)

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1. 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	評点
1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	A
2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	A
3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A
【講評】 詳細はこちら	
利用者の意見・要望・苦情については、個別面談の機会などに聞いて対応するようにして...	

- 地域の福祉ニーズについては、地域の就労支援ネットワーク会議等の場を通じて収集して...
- 福祉事業全体の動向については、関連する諸会合や研修会等に積極的に参加して情報を収...

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

計画の策定と着実な実行

1. 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	評点
1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	A
2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A
3. 着実な計画の実行に取り組んでいる	A
2. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	評点
1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら ● 年度の事業計画の策定に当っては、職員アンケートにより、施設運営に関して提言を含め... ● 職員個々人の課題は、事業計画に基づく目標の自己申告を行い、施設長の面談・ヒアリン... ● 作業中の事故の未然防止のために施設内の安全管理体制を整備・確立することを重点項目...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

職員と組織の能力向上

1. 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	評点
1. 事業所にとって必要な人材構成にしている	A
2. 職員の質の向上に取り組んでいる	A
2. 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	評点
1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	A
2. 職員のやる気向上に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら ● 職員の人材像や育成の考え方については明示されている。人事考課制度は平成19年度か... ● 研修計画の策定に当っては、職員アンケートにより、本人の目標や希望を集約して、ヒア... ● 就労支援のために常に数名の職員が施設外で仕事に従事している。このような職場の状況...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

情報の保護・共有

1. 情報の保護・共有に取り組んでいる	評点
1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A
2. 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している	A
【講評】 詳細はこちら ● ケース情報は保管する場所を決めて、厳密に管理するようにしている。ケースファイルに... ● 利用者の個人情報の取り扱いについては、練馬区の個人情報保護規程に基づいて運用し、...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

カテゴリー1～7に関する活動成果

1. 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	評点
1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A+
【改善の成果】 詳細はこちら ● ①理念を明確にして、関係者への周知に努めるとともに運営会議を毎週開催して、計画の...	
2. 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	評点

1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A
【改善の成果】 詳細はこちら	
就労支援技術習得のための研修会を中心にいろいろな研修会に参加し、職員と組織の能力...	
3. 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A+
【改善の成果】 詳細はこちら	
①作業をできるだけ細分化して再構成を行い、利用者の仕事に対する意欲を引き出し、能...	
4. 前年度と比べ、事業所の財政面において向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している	A
【改善の成果】 詳細はこちら	
事業計画に基づいて効率的な運営を心がけ、コストの削減に取り組んでいる。	
5. 前年度と比べ、利用者の意向や苦情対応の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している	A
【改善の成果】 詳細はこちら	
障害者自立支援法など障害者福祉の動向について情報を収集して対応策検討の素材として...	
【講評】 詳細はこちら	
- 法人および貴井福祉工房の理念を明確にして、関係者への周知に努めるとともに運営会議... - 作業中の事故の未然防止のために施設内の安全管理体制を整備・確立することを重点項目... - 作業をできるだけ細分化して再構成を行い、利用者の仕事に対する意欲を引き出し、能力...	



[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評価の見方

福祉サービス第三者評価情報

サービス分析結果

▼サービス提供のプロセス項目 ▼サービスの実施項目

平成17年度 知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	練馬区立貫井福祉工房
評価機関名称	有限責任中間法人 日本福祉サービス評価機構
事業評価実施期間	2006年2月6日～2006年3月31日

サービス提供のプロセス項目

サービス情報の提供	評点
1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
【講評】 詳細はこちら - 区立の施設なので、利用者に対する情報提供は練馬区を通じて行っている。貫井福祉工房... - 練馬区や各福祉事務所をはじめ関係機関、養護学校に毎年度の事業報告書・事業計画書等... - 利用者の見学については、集団でも個別でも希望に応じて随時対応するようにしている。...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
サービスの開始・終了時の対応	評点
1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A
2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用の開始にあたっては、利用契約書および重要事項説明書をもとに説明し、利用者の同... - 利用直後の不安やストレスの軽減や利用前の生活を踏まえた支援のために、利用前の機関... - 就職後3ヶ月は不安定な時期であるので、福祉工房の籍は残して様子を見守るようにして...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
個別状況の把握・記録	評点
1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	A
2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	A+
3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	A
4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者の身体状況や生活状況等は「個別目標・援助プログラム」の用紙や家族面談記録用... - 個別支援計画の作成会議は利用者本人を中心に行われていることは上記のとおりであるが... - 毎月、利用者に工賃を支払う時に職員から評価について話をし、本人から意見を聞き、...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	評点
1. 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者からは前の所属機関からの引継ぎについての同意書と通院時に情報を提供すること... - 利用者一人一人の意思は個別面談の都度確認して支援にあたっている。実習や就職先を決...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから
事業所業務の標準化	評点
1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	A
2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	A
3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
【講評】 詳細はこちら - サービスの基本事項や手順等については手引書があり、日常の支援活動や業務の点検に活... - 支援員会議、4か月ごとの個別支援計画見直し、年度方針の策定時に合わせて、サービス... - 前年度に続き、平成17年度も安全管理を重点項目として取り組み、看護師等と連携しな...	評点の内容 ▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A ⁺
【講評】 詳細はこちら ● 利用者・家族には、現在および将来に向けての生活支援に対するニーズが高く、健康管理... ● 対人関係の問題では施設以外での人間関係についての相談の比重が高く、相当の件数にな...	
2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら ● 授産活動のメニューは利用者が選択できるが、職業訓練的な要素が多分に含まれるため、... ● 作業をできるだけ細分化して再構成を行い、利用者の仕事に対する意欲を引き出し、能力... ● 作業の工夫や個別支援計画における利用者の目標の明確化を行い、個別の目標に向けての...	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 詳細はこちら ● 給食は業者に委託しているが、嗜好調査を行ない、献立に反映するようにしている。毎週... ● 1時間の食事時間を設け、時間や席は自由に自分のペースに合わせて食事ができるように... ● 栄養士が講師になり、年1回、利用者向けの栄養講座を開催しているほか、毎月のメニュー...	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】 詳細はこちら ● 就労を目的とする通所施設であるので、就労に必要なこと(タイムカードでの打刻、更衣... ● 女性の利用者には生理に関する講座を設けている。また、個別的な支援も行っている。	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A ⁺
【講評】 詳細はこちら ● 朝夕に利用者一人ひとりについて健康チェックを行っている。また、嘱託医が全員の家族... ● 血糖値の管理が必要な利用者については、医師と連携して個人別の健康管理マニュアルを...	
6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	A ⁺
【講評】 詳細はこちら ● 行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の話合いにより、内容や行く先を決める... ● 利用者の会の運営を支援している。第2土曜日には、利用者や退所者に施設を開放してい...	
7. 施設と家族等との交流・連携を図っている	A
【講評】 詳細はこちら ● 利用者との面談の内容を家族に伝えてよいかどうかについては必ず本人の確認を取るよう... ● 家族からの相談は随時受けるようにしている。電話での連絡や相談が多く、現在は1日2... ● 家族との連携・交流を大切にしており、福祉園と合同の園祭り"ぬくぬくフェスティバル..."	
8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A ⁺
【講評】 詳細はこちら ● 一般企業も地域の社会資源の一つであり、体験・就労実習への協力や作業活動への協力を... ● 地域とのつながりを一層強めるために、地域住民を対象においしいコーヒーの入れ方やバ...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちらから	

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評価の見方

福祉サービス第三者評価情報

利用者調査結果

▼調査概要 ▼調査結果全体のコメント ▼調査結果

平成17年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	練馬区立貫井福祉工房
評価機関名称	有限責任中間法人 日本福祉サービス評価機構
利用者調査実施期間	2006年3月11日～2006年3月20日

調査概要

- **調査対象**: 貫井福祉工房の利用者全員を対象とした。また、すでに退所しているが、施設とのつながりを保っていて、当日都合のよい人も対象に加えることとした。
- **調査方法**: 調査員が利用者一人ひとりと面談し、聞き取りを行った。
- 利用者総数: 18人
- 共通評価項目による調査対象者数: 18人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数: 18人
- 利用者総数に対する回答者割合(%): 100.0%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

[このページの一番上へ](#)

調査結果全体のコメント

退所者に対しては、通所・利用していた時のことを思い出して答えてもらうようにした。施設に通い始めてからまだ日の浅い人もいて、「わからない」と答えた項目がいくつかあったので、これは「無回答」の扱いとすることにしたので、留意されたい。各項目に対する答えは別表のとおりであり、サービスについても、職員の対応についても肯定的な評価が殆どであった。「第三者委員など外の人に相談できるか」という問に対して「いいえ」の答が多いが、その必要性をあまり感じていないという印象であった。総合的な感想では、「とても良い」と「やや良い」をあわせると88.9%となり、満足度は高いといえよう。

[このページの一番上へ](#)

調査結果

1.施設の中は安全に動けるようになっていきますか

はい	18人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

2.食事はおいしいですか

はい	18人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

3.仕事や活動は楽しいですか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

4.職員はみんな同じようにあなたに対応してくれますか

はい	15人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

5.職員は、丁寧(乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない)に接してくれますか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

6.あなたの気持ちをわかってくれる(相談できる)職員がいますか

はい	16人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

7.あなたが困ったとき、施設の職員は助けてくれますか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

8.困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか

はい	3人	どちらともいえない	0人	いいえ	13人	無回答・非該当	1人
----	----	-----------	----	-----	-----	---------	----

9.工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されていますか

はい	13人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

10.施設に、あなたが来る事を喜んでくれる仲間がいますか

はい	18人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

11.あなたの目標・計画について、いっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	3人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

13.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会(説明、掲示など)がありましたか

はい	2人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	1人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

14.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設の説明を聞いて、自分で施設を利用することを決めましたか

はい	3人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

15.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	14人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

16.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	14人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	3人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報

リーダーシップと意思決定

講評

法人および貴井福祉工房のミッション（理念）を明確にして職員会議や家族連絡会の場で説明して、職員、利用者・家族をはじめ関係者に周知するよう取り組んでいる。また、施設内にも掲示して、貴井活動交流室を利用する地域住民等に対しても理解してもらうよう努めている。

施設の運営に当っては、理念を方針に具体化して、年度の事業計画を策定している。併設の福祉園と合同の運営会議を設置して、施設長を中心に日常の執行に当たっている。重要な案件については、会議や会合等の場を通じて職員や利用者・家族に周知されている。

[このページの一番上へ](#)

1-1-1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

評点	A
標準項目	☐ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	☐ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	☐ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	☐ 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
A+の取り組み	

1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

評点	A
標準項目	☐ 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
	☐ 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
A+の取り組み	

1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点	A
標準項目	☐ 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
	☐ 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	☐ 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報

経営における社会的責任

講評

法人および貴井福祉工房の「ミッション」や年度の事業計画において、福祉サービスに従事する者として心がけるべき基本的な視点を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいる。施設内には職員や利用者がいつでも見ることができるように「職員の援助の基本姿勢」が掲示されている。

貴井活動交流室や共有スペースの活用の状況は上記のとおりであるが、活動交流室の運営委員会には地域町会や商店会の代表が参加している。また、地域町会の会合には、毎月、施設長が出席して福祉工房の近況や行事について報告するなど地域社会に開かれた組織となるよう取り組んでいる。

利用者の就労を促進するために、練馬区、ハローワーク・職業センター等の関係支援機関、就労支援組織、作業所、学校、親の会等と連携して地域での障害者の雇用・就労促進体制づくりに取り組んでいる。

[このページの一番上へ](#)

2-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

評点	A	
標準項目	○	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している
	○	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる
A+の取り組み		

2-1-2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

評点	A+	
標準項目	○	第三者評価・外部監査の実施など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる
	○	透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法（事業者便り・会報など）で地域社会に事業所に関する情報を開示している
A+の取り組み	施設内には地域住民が利用する貴井活動交流室が併設されている。隣接の福祉工房の運営するパン販売コーナーと喫茶コーナーは共有スペースとなっており、地域住民は自由に出入して、利用者と自然に接することにより、相互に地域生活や障害者福祉に対する理解を深めることができるようになっている。そこには展示コーナーも設置され、双方の作品や活動状況が紹介されている。	

2-1-3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている

評点	A+	
標準項目	○	実習生の受け入れに対する基本方針・取り組み体制を明確にしている
	○	効果的な実習ができるよう計画的なプログラムを用意している
A+の取り組み	大学へ出向き、学生に実習の前に「障害の理解」、「実習の意義」等についてオリエンテーションを行っている。	

2-2-1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評点	A+	
標準項目	○	事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している（施設・備品等の開放、個別相談など）
	○	地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている
A+の取り組み	併設の福祉園（知的障害者通所更生施設）と合わせて、年間1,000人を超える見学者（関係機関、福祉施設関係者、学校関係者、学生等）を受け入れている。	

2-2-2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点	A	
	○	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している

標準項目	○	ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)
	○	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
A+の取り組み		

2-2-3. 地域の関係機関との連携を図っている

評点	A	
標準項目	○	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している
	○	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

講 評

利用者の意見・要望・苦情については、個別面談の機会などに聞いて対応するようにしている。苦情解決制度については、利用者、家族に周知するよう努めているほか、年数回、苦情解決委員が利用者からの相談に対応している。

地域の福祉ニーズについては、地域の就労支援ネットワーク会議等の場を通じて収集している。

福祉事業全体の動向については、関連する諸会合や研修会等に積極的に参加して情報を収集している。今年度は、障害者自立支援法と関連する情報の収集に努め、利用者・家族に対する説明を行っている。

[このページの一番上へ](#)

3-1-1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点	A
標準項目	☐ 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
	☐ 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
A+の取り組み	

3-1-2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点	A
標準項目	☐ 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
	☐ 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
	☐ 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
A+の取り組み	

3-1-3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点	A
標準項目	☐ 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
	☐ 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
	☐ 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方

福祉サービス第三者評価情報

計画の策定と着実な実行

講評

年度の事業計画の策定に当っては、職員アンケートにより、施設運営に関して提言を含めて意見を集約して、現場の意向を反映するよう努めている。短期の活動についても担当者を決めて、計画的に取り組んでいる。

職員個々人の課題は、事業計画に基づく目標の自己申告を行い、施設長の面談・ヒアリングを経て設定されている。面談・ヒアリングは半期ごとに行われて、必要に応じて調整されている。

作業中の事故の未然防止のために施設内の安全管理体制を整備・確立することを重点項目として取り組んでいる。利用者には就労支援の一環として職場での安全管理の知識・習慣が身につくように支援している。また、実際の作業場面をシミュレーションして声かけや作業ルールを詳細に定めるとともに怪我をする場合のケーススタディーを行い、事故の予防や再発防止に役立っている。その結果、作業時の怪我は大幅に減少している。

[このページの一覧上へ](#)

4-1-1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点	A
標準項目	☐ 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
	☐ 年度単位の計画を策定している
	☐ 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
A+の取り組み	

4-1-2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点	A
標準項目	☐ 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
	☐ 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
	☐ 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)をふまえて策定している
	☐ 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)をふまえて策定している
A+の取り組み	

4-1-3. 着実な計画の実行に取り組んでいる

評点	A
標準項目	☐ 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
	☐ 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている
	☐ 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している
	☐ 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる
A+の取り組み	

4-2-1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点	A
標準項目	☐ 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している
	☐ 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している
	☐ 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
A+の取り組み	

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団
【問合せ】メールアドレス: fukushiit@fukushizaidan.jp 電話: 03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評価の見方

福祉サービス第三者評価情報

職員と組織の能力向上

講評

職員の人材像や育成の考え方については明示されている。人事考課制度は平成19年度から導入する計画で、現在、そのための試行を行っている。

研修計画の策定に当たっては、職員アンケートにより、本人の目標や希望を集約して、ヒアリングを行い確定するようにしている。外部研修は就労支援技術の習得を中心に各種の研修会に参加している。研修の成果の共有化のために、朝礼やミーティングでの報告や研修報告書の閲覧等を行っている。

就労支援のために常に数名の職員が施設外で仕事に従事している。このような職場の状況に対応したコミュニケーションのあり方を今後の検討課題としている。また、非常勤職員の増加に伴い、常勤職員と非常勤職員の役割分担のあり方と連携の強化を検討課題としている。

[このページの一番上へ](#)

5-1-1. 事業所にとって必要な人材構成にしている

評点	A	
標準項目	☐	事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
	☐	事業所が必要とする人材をふまえた採用を行っている
	☐	適材適所の人員配置に取り組んでいる
A+の取り組み		

5-1-2. 職員の質の向上に取り組んでいる

評点	A	
標準項目	☐	職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
	☐	職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している
	☐	個人別の育成(研修)計画をふまえ、OJTや研修を行っている
	☐	職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している
	☐	職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
A+の取り組み		

5-2-1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点	A	
標準項目	☐	職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
	☐	職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
	☐	職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
A+の取り組み		

5-2-2. 職員のやる気向上に取り組んでいる

評点	A	
標準項目	☐	事業所の特性をふまえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている
	☐	就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
	☐	職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
	☐	福利厚生制度の充実に取り組んでいる
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

[評点の見方](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#)

情報の保護・共有

講 評

ケース情報は保管する場所を決めて、厳密に管理するようにしている。ケースファイルには目次をつけて使いやすいようにしている。

利用者の個人情報の取り扱いについては、練馬区の個人情報保護規程に基づいて運用し、利用目的や開示請求への対応方法を明示している。

[このページの一番上へ](#)

7-1-1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点	A	
標準項目		情報の重要性や機密性をふまえ、アクセス権限を設定している
		収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している
		保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
A+の取り組み		

7-1-2. 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している

評点	A	
標準項目		事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
		個人情報の保護に関する規定を明示している
		開示請求に対する対応方法を明示している
		個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報

カテゴリー1～7に関する活動成果

講評

法人および貫井福祉工房の理念を明確にして、関係者への周知に努めるとともに運営会議を毎週開催して、計画の実施状況を点検し、着実な執行に努めている。

作業中の事故の未然防止のために施設内の安全管理体制を整備・確立することを重点項目として取り組み、作業中の事故を大幅に減少させている。

作業をできるだけ細分化して再構成を行い、利用者の仕事に対する意欲を引き出し、能力が発揮されるように仕事の分担も工夫している。

[このページの一番上へ](#)

8-1-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

評点	A ⁺
改善の成果	①理念を明確にして、関係者への周知に努めるとともに運営会議を毎週開催して、計画の実施状況を点検し、着実な執行に努めている。②福祉施設としての役割を発揮し、地域に開かれた組織として活動に取り組んでいる。③作業中の事故の未然防止を重点項目として取り組み、作業中の怪我を大幅に減少させている。

[このページの一番上へ](#)

8-2-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

評点	A
改善の成果	就労支援技術習得のための研修会を中心にいろいろな研修会に参加し、職員と組織の能力向上に取り組んでいる。

[このページの一番上へ](#)

8-3-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

評点	A ⁺
改善の成果	①作業をできるだけ細分化して再構成を行い、利用者の仕事に対する意欲を引き出し、能力が発揮されるように作業の分担を工夫している。②個人情報の保護について、練馬区の規程に基づいて適切に運用している。

[このページの一番上へ](#)

8-4-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している

評点	A
改善の成果	事業計画に基づいて効率的な運営を心がけ、コストの削減に取り組んでいる。

[このページの一番上へ](#)

8-5-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意識や地域・事業環境などの把握」

評点	A
改善の成果	障害者自立支援法など障害者福祉の動向について情報を収集して対応策検討の素材としている。

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

[評点の見方](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#)



サービス情報の提供

講 評

区立の施設なので、利用者に対する情報提供は練馬区を通じて行っている。貫井福祉工房としてはパンフレットのほかに重要事項説明書を用意して、利用者に提供している。

練馬区や各福祉事務所をはじめ関係機関、養護学校に毎年度の事業報告書・事業計画書等の資料を配布して、情報を提供している。また、企業や職安関係者をはじめいろいろな分野の人に貫井福祉工房の活動や利用者の就労状況等について説明・報告している。

利用者の見学については、集団でも個別でも希望に応じて随時対応するようにしている。土曜日も第2土曜日の“ぬくぬくサタデー”の日に受け入れている。

[このページの一番上へ](#)

1-1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している

評点	A
標準項目	☐ 利用者が入手できる媒体で、利用者に事業所の情報を提供している
	☐ 利用者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	☐ 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	☐ 利用者の問い合わせや見学(可能な場合)の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

[評点の見方](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#)

サービスの開始・終了時の対応

講 評

利用の開始にあたっては、利用契約書および重要事項説明書をもとに説明し、利用者の同意を得るようにしている。

利用直後の不安やストレスの軽減や利用前の生活を踏まえた支援のために、利用前の機関からの引継ぎを受けるとともに作業も負担の少ない職種にするなど配慮している。

就職後3ヶ月は不安定な時期であるので、福祉工房の籍は残して様子を見守るようにしている。サービスの終了時には、利用者と面談して今後の支援や不安な点、今後必要となるサービスについて福祉司を交えて確認している。

[このページの一番上へ](#)

2-1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている

評点	A
標準項目	○ サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している
	○ サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている
	○ サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点	A
標準項目	○ サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
	○ 利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している
	○ サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
	○ サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト
評価結果詳細
全体の評価講評
事業評価結果
組織マネジメント分析結果
サービス分析結果
利用者調査結果
事業者のコメント
評点の見方

福祉サービス第三者評価情報

個別状況の把握・記録

講評

利用者の身体状況や生活状況等は「個別目標・援助プログラム」の用紙や家族面談記録用紙に記録され、把握されている。中期の計画は「個別支援プログラム」の用紙に整理されるが、計画は4ヶ月ごとに見直しが行われ、更新されている。

個別支援計画の作成会議は利用者本人を中心に行われていることは上記のとおりであるが、計画をまとめる用紙（「個別目標・援助プログラム」「個別支援プログラム」）は、言葉もやさしく、イラストを使って、本人が中心に作成できるように工夫されている。

毎月、利用者に工賃を支払う時に職員から評価について話をし、本人から意見を聞き、「個別目標・援助プログラム」に記録している。これは職員に回覧され、意見を記入するようになっている。また、ケース記録もある。情報の共有化はこのような記録の回覧と毎朝のミーティングや支援員の会議を通じて行われている。

[このページの一番上へ](#)

3-1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点	A
標準項目	利用者の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している
	利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している

評点	A+
標準項目	計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている
	計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている
	計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている
	計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している
A+の取り組み	・個別支援計画の作成会議は利用者本人を中心に行われ、目標の設定も利用者を中心に行われている。利用者の内発的動機づけを促すことが就労意欲につながるという利用者支援の具体化の一つである。

[このページの一番上へ](#)

3-3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点	A
標準項目	利用者一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある
	計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点	A
	計画の内容や個人の記録を、関係する職員すべてが共有し、活用している

標準項目		申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評価の見方

福祉サービス第三者評価情報

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

講 評

利用者からは前の所属機関からの引継ぎについての同意書と通院時に情報を提供することについての同意書を提出してもらっている。また、外部に公表される情報については、その都度確認を行っている。

利用者一人一人の意思は個別面談の都度確認して支援にあたっている。実習や就職先を決める際にも、本人の意思を確認するよう努めている。

[このページの一番上へ](#)

5-1. 利用者のプライバシー保護を徹底している

評点	A	
標準項目		利用者について他機関へ照会する際、利用者の承諾を得るようにしている
		日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している
		利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

5-2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している

評点	A	
標準項目		日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している（利用者が「ノー」と言える機会を設けている）
		利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
		虐待被害にあった利用者がある場合には、必要に応じて関係機関と連携しながら対応する体制を整えている
		利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報

事業所業務の標準化

講評

サービスの基本事項や手順については手引書があり、日常の支援活動や業務の点検に活用されている。

支援員会議、4ヵ月ごとの個別支援計画見直し、年度方針の策定時に合わせて、サービスの基本事項や手順についても検討するようにしている。

前年度に続き、平成17年度も安全管理を重点項目として取り組み、看護師等と連携しながら作業環境の改善と配慮事項の確認に努めている。怪我の件数は大幅に減少している。

[このページの一番上へ](#)

6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点	A
標準項目	☐ 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
	☐ 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている
	☐ 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している
	☐ 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点	A
標準項目	☐ 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている
	☐ 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている
	☐ 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点	A
標準項目	☐ 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている
	☐ 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している
	☐ 職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている
	☐ 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している
	☐ 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報



サービスの実施

1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している

講 評

利用者・家族には、現在および将来に向けての生活支援に対するニーズが高く、健康管理、通院援助、金銭管理、事故処理、余暇支援などいろいろな面から生活支援を行っている。情報提供や学習の機会の提供にも取り組んでいる。

対人関係の問題では施設以外での人間関係についての相談の比重が高く、相当の件数になっているが、個別に綿密に対応するよう努めている。

評点	A ⁺
標準項目	○ 個別の支援計画に基づいて支援を行っている
	○ 利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している
	○ 自立生活に必要なさまざまな情報を提供している
	○ 必要に応じて対人関係のアドバイス等を行っている
A+の取り組み	・退所後の自立生活の際の支援につながるよう、利用者の支援計画についてはすべてに福祉事務所が関わるようにしている。

[このページの一番上へ](#)

2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている

講 評

授産活動のメニューは利用者が選択できるが、職業訓練的な要素が多分に含まれるため、職員が利用者の目標に合わせて選択して個別援助プログラム会議で本人の合意を得るようにしている。

作業をできるだけ細分化して再構成を行い、利用者の仕事に対する意欲を引き出し、能力が発揮されるように作業の分担を工夫している。工賃については基準を明示するとともに工賃の支払日に個別に面談して、その月の評価と次月の目標について話し合っている。

作業の工夫や個別支援計画における利用者の目標の明確化を行い、個別の目標に向けての努力・達成度を評価して工賃の時給単価に反映させることにより、利用者の働く意欲を高める取り組みを行っている。

評点	A
標準項目	○ 授産活動のメニュー等は、利用者の希望や特性により選択できるようにしている
	○ 利用者が活動しやすい環境を整えている
	○ 利用者一人ひとりのニーズに応じたその人らしさが発揮できる活動を用意している
	○ 工賃は利用者との合意に基づいて支給している
	○ 利用者の働く意欲を盛り立てる取り組みを行っている
	○ 就労可能な利用者には、就労に向けた相談や具体的な支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している

講 評

給食は業者に委託しているが、嗜好調査を行ない、献立に反映するようにしている。毎週金曜日はご飯またはパンを選択できるようにしている。

1時間の食事時間を設け、時間や席は自由に自分のペースに合わせて食事ができるようにしている。

栄養士が講師になり、年1回、利用者向けの栄養講座を開催しているほか、毎月のメニューに栄養に関するコラムや季節の話題を盛り込んで食生活について支援している。

評点	A	
標準項目	○	利用者の希望や職員の意見を反映し、バラエティーに富んだ飽きのこない食事を提供している
	○	利用者の状態やペースに合わせて食事がとれるよう、必要な支援を行っている
	○	食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている

講 評

就労を目的とする通所施設であるので、就労に必要なこと(タイムカードでの打刻、更衣ロッカーの使い方、制服の着用や鏡での点検など)を中心に基本的には利用者が自分でできるようになるよう支援している。

女性の利用者には生理に関する講座を設けている。また、個別的な支援も行っている。

評点	A	
標準項目	○	利用者の状態やペースに合わせて、日常生活上の必要な支援を行っている
	○	必要に応じて、身の回りのことは自分で行えるよう働きかけている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

講 評

朝夕に利用者一人ひとりについて健康チェックを行っている。また、嘱託医が全員の家族と面談する機会を設けている。

血糖値の管理が必要な利用者については、医師と連携して個人別の健康管理マニュアルを作成して対応している。また、家庭の事情により必要な場合には、通院同行の支援も行っている。

評点	A ⁺	
標準項目	○	健康状態に関して、利用者の相談に応じ、必要に応じて利用者や家族に説明をしている
	○	必要に応じて、通院や服薬等に対する助言や支援を行っている
	○	服薬管理は誤りがないようチェック体制を整えている
	○	利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている
A+の取り組み	・利用者が就職後に自分の体調を自己管理できるようになるために、体調不良を自覚できるようになることと体調不良時の対処方法を覚えることを目標に支援している。	

[このページの一番上へ](#)

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

講 評

行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の話し合いにより、内容や行く先を決めるなど、利用者の意向をいかして多様な体験ができるように支援している。活動によっては、年度末に利用者アンケートを実施して、その結果を次年度の計画に反映するようにしている。

利用者の会の運営を支援している。第2土曜日には、利用者や退所者に施設を開放しているが（ぬくぬくサタデー）、その日の活動は自分たちが企画・運営して、楽しい一日を過ごしている。なお、退所者の会（OB会）が近く発足する予定になっている。

評点	A ⁺	
標準項目		行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の特性や嗜好を考慮し、多様な体験ができるようにしている
		室内は、採光、換気、清潔性など居心地のよい環境となるようにしている
		日常生活に関するきまりごとについては、利用者等の意見を参考に見直しをしている
		利用者同士が意見を言う機会があり、その意見等を施設運営に反映できるようなしくみを整えている
		行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行っている
A+の取り組み	・毎月第2土曜日は、利用者や退所者に施設を開放して（ぬくぬくサタデー）、自主的な活動や行事に取り組めるように支援している。	

[このページの一番上へ](#)

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

講 評

利用者との面談の内容を家族に伝えてよいかどうかについては必ず本人の確認を取るようにしている。また、日誌に記載する内容についても利用者本人の確認を取るようにしている。

家族からの相談は随時受けるようにしている。電話での連絡や相談が多く、現在は1日20件ほどの件数になっている。

家族との連携・交流を大切にしており、福祉園と合同の園祭り”ぬくぬくフェスティバル”を家族会と一緒に開催している。また、新年会は家族が退所者の家族を含めて参加して開催されている。

評点	A	
標準項目		家族等との交流・連携に際して、利用者本人の意思を確認し、その意向に基づいた対応をしている
		利用者の日常の様子や施設の現況を家族等へ知らせる手段を整えている
		必要に応じて、家族等への情報提供や支援をしている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

講 評

一般企業も地域の社会資源の一つであり、体験・就労実習への協力や作業活動への協力を要請して、実習はなるべく地域の企業で実施するように努めている。

地域とのつながりを一層強めるために、地域住民を対象においしいコーヒーの入れ方やパンの試食会の開催を検討している。

評点	A ⁺	
標準項目		地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している

		必要に応じて、利用者が地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している
A+の取り組み		・施設の中に地域の人々が利用できる「活動交流室」があるので、毎日、地域の人々が出入していて、自然に利用者と触れ合うことができる環境にある。

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団
【問合せ】メールアドレス: fukushiit@fukushizaidan.jp 電話: 03-5206-8733